

健幸都市くさつの推進に向けて

～草津市健幸都市づくり基本方針に係る令和6年度の実績、評価

および令和7年度の実績状況について～

令和7年8月
健康福祉政策課





基本方針の目標



< 全体指標 >

① 健康寿命の延伸

※健康寿命は「日常生活動作が自立している期間の平均」
(客観的指標)を採用しています。

(歳)

	R2(当初)	R4(前回実績)	R5(今回実績)	R14(最終目標)
男	82.58	82.24	81.98	83.66
女	85.92	85.16	85.00	86.60

【参考(令和元年全国・滋賀県の健康寿命)】

(歳)

	男性	女性
滋賀県	81.07(全国2位)	84.61(全国7位)
全国	79.91	84.18

健康寿命は、その年における比較的若い年代の死亡者数の増加等によっても影響を受けるため、単年度ではなく中長期的な視点で捉えることが必要です。
本市においては、ここ数年、下降している状況ですが、全国の値と比較すると高い値となっています。令和5年度については、男性は70～74歳の要介護者が前年より増加していること、女性については、75～79歳の死亡者数が前年度より増加していること等が健康寿命短縮の一因になっていると考えられます。引き続き、市民一人ひとりの健康づくりの推進に向け、地域の関係団体等の様々な主体との連携を強化・拡大し、健康啓発や生活習慣の改善につながる取組を進めるとともに、地域の主体的な取組を支援する必要があります。また、誰もが心身の不調について「気づき」や「見守り」を行える環境づくりや、支援を必要とする方が適切に相談や支援を受けられる体制整備に取り組む必要があります。

② 健幸に暮らしていると思う市民の割合

(%)

	R2(当初)	R5(前回実績)	R6(今回実績)	R14(最終目標)
—	—	66.3	66.2	60.0

この指標に設定してから2年目の実績となります。目標値60.0%に対して令和6年度の実績は66.2%と令和5年度に引き続き草津市民の暮らしに対する満足度は目標値と比べて高いという結果になりました。まずはこの結果の維持および向上のため、さらに「健幸都市くさつ」実現に向けた取組を推進していくことが大切であると考えます。
また、今後については、経年推移を見極めた上で、草津市総合計画において参考指標として新たに取り入れたWell-being（ウェルビーイング）指標も参考にしながら目標値の見直しを検討していきます。

< 参考指標（バロメーター） >

■ 市民主役のまちづくりが進んでいると思う市民の割合

指標	単位		R2	R3	R4	R5	R6	R6目標値に対する 目標達成度
市民主役のまちづくりが進んでいると思う市民の割合 (%)	%	目標値		23.0	24.5	26.0	27.5	85.5%
		実績値	17.3	20.9	19.1	23.5	23.5	

令和6年度の目標達成度は85.5%と未達であったものの、各地域まちづくりセンターおよび市民総合交流センターを市民主役のまちづくりの拠点として活用し、学びやにぎわいづくりを行うことができました。

■ 「まちづくり情報の提供の充実」に満足している市民の割合

指標	単位		R2	R3	R4	R5	R6	R6目標値に対する 目標達成度
「まちづくり情報の提供の充実」に満足している市民の割合(%)	%	目標値		16.0	16.6	17.2	17.8	101.7%
		実績値	15.4	18.5	18.3	18.4	18.1	

市ホームページや広報紙をはじめ、X（旧Twitter）やLINE、Facebook、YouTube等、様々な媒体を活用して積極的な情報発信を行った結果、令和6年度の目標値を達成することができました。

■ 「市民の健康づくり」に満足している市民の割合

指標	単位		R2	R3	R4	R5	R6	R6目標値に対する 目標達成度
「市民の健康づくり」に満足している市民の割合 (%)	%	目標値		27.5	30.5	33.5	36.5	102.2%
		実績値	26.5	34.6	36.6	33.9	37.3	

市民の「健康づくり」への関心を更に高めるとともに、心身の疾病予防等に向けた主体的な取組がより一層展開されるよう、様々な主体との連携による取組を進めた結果、令和6年度の目標値を達成することができました。

■ 「福祉の総合的な相談・支援の充実」に満足している市民の割合

指標	単位		R2	R3	R4	R5	R6	R6目標値に対する 目標達成度
「福祉の総合的な相談・支援の充実」に満足している市民の割合(%)	%	目標値		17.4	17.8	18.2	18.6	107.5%
		実績値	17.0	19.3	17.5	19.2	20.0	

複合的な生活課題を抱える人、ひきこもりや生きづらさを感じている人・世帯の早期発見に努め、様々な福祉課題に対して関係機関等と連携した相談支援体制の構築を図った結果、令和6年度の目標値を達成することができました。

■ 令和6年度の取組実績・評価 および 令和7年度の取組状況

◆ みんなではぐくむ健幸づくり

〈健幸イベントの開催〉

- 〈R6〉「みんなの健幸フェア」を10月6日に市制施行70周年事業として規模を拡大して実施した結果、来場者数が大幅に増え、より幅広い方々に健幸づくりの働きかけを行うことができました。「びわこ・くさつ健幸フェスタ」についても、市制施行70周年事業として11月10日に開催し、(株)平和堂とタイアップした「ベジチェック測定会」を実施するなど、企業との連携強化にも取り組みました。
(R6来場者数：健幸フェア6,111名、健幸フェスタ14,124名 / R5来場者数：健幸フェア2,398名、健幸フェスタ13,017名)
- 〈R7〉体験型健幸イベントである「みんなの健幸フェア」「びわこ・くさつ健幸フェスタ」を開催し、健幸への意識・関心が低い方々に対しても、健幸づくりに取り組むためのきっかけを提供します。

〈健康診査・各種けん診〉

〈特定健康診査〉

- 〈R6〉特定健康診査を個別健診と集団けん診(10回)で実施するとともに、対象者の特性に合わせた受診勧奨通知を送付(約38,000件)した結果、対象者の38.8%に受診いただくことができました。(R6受診率 38.8% / R5受診率 38.0%)
- 〈R7〉従来の取組と併せて託児サービスや電子申請の活用、ショッピングモールでの集団けん診の実施、SMSを活用した受診勧奨により、若い世代のけん診受診率の向上に取り組めます。また、生命保険会社との連携協定により、受診率向上に向けた保険外交員による周知啓発や集団けん診会場での健康啓発ブースの設置を行う予定をしています。

〈後期高齢者健康診査〉

- 〈R6〉令和6年度より滋賀県後期高齢者医療広域連合が除外対象者の見直しを行ったため、健診の対象者が大幅に増加したことにより、滋賀県全体の受診率27.7%と同率となりました。(R6受診率 27.7% / R5受診率35.5%)
- 〈R7〉後期高齢者健康診査の受診率向上のため、広報やリーフレットによる受診勧奨を行います。

■ 令和6年度の実績・評価 および 令和7年度の実績状況

〈健康診査・各種けん診〉

〈各種がん検診事業〉

- 〈R6〉がん検診の受診率向上にむけ、医療機関での個別検診及び特定健康診査との同時受診が可能な集団けん診を行い、集団けん診については予約枠拡大、Web予約の実施とともに、託児支援を受けられる環境づくりを行いました。
また、ナッジ理論を活用し、がん検診対象者に個別勧奨・再勧奨通知と大腸がん検査キットの送付を行ったほか、子宮頸がん、乳がん検診の節目年齢の対象者に無料クーポン券を送付するなど、対象者に合わせた受診勧奨を行いました。そのほか、イオンシネマや市SNS公式アカウントにおけるがん検診啓発動画を放映し周知啓発を行った結果、病気の予防と早期発見に資する取組を進めることができました。
(R6実績：がん検診受診率 胃(50歳以上) 2.7%、肺(40歳以上)9.1%、大腸(40歳以上) 7.8%、子宮(20歳以上女性) 14.3%、乳(40歳以上女性)11.8% / R5実績：胃(50歳以上)3.1%、肺(40歳以上) 7.6%、大腸(40歳以上) 6.5%、子宮(20歳以上女性) 14.3%、乳(40歳以上女性)11.9%)
- 〈R7〉引き続き、がん検診を受診しやすい環境づくりと対象者に合わせた受診勧奨を行います。

〈子育て支援〉

- 〈R6〉新生児訪問事業により対象者数の99.7%の家庭を訪問した結果、養育者の心身の状況を把握することができ、支援が必要なケースに対しては、訪問や電話、母子保健事業を通じた継続的な支援を行うことにより、育児等に関する相談、指導等を実施することができました。(R6訪問率 99.7% / R5訪問率 98.3%)
- 〈R7〉相談対応や育児への助言等を行い、不安の軽減を図ります。また、育児支援の必要なケースを早期発見し、適切な子育て支援サービスや継続支援につなげます。



「健幸都市づくり」主な関連事業



■ 令和6年度の実績・評価 および 令和7年度の実績状況

〈草津市子育て6つの楽だ〉

- 〈R6〉①第3子以降保育料無償化事業：0～2歳までの第3子以降の保育料について、所得制限なし・年齢制限なしでの無償化を実施し、子育て世帯の経済的な負担の軽減を図ることができました。（R6対象者数191名）
 - ②保育士等奨学金返還支援事業：対象者へ奨学金返還に係る費用を支援し、保育士の確保につなげ、保育環境の充実に図ることができました。（R6対象者数18名）
 - ③保育士等就職定着応援支援事業：対象者へ就職定着応援支援金を支給することにより、保育士の定着につなげ、保育環境の充実に図ることができました。（R6対象者数87名）
 - ④子ども医療費助成事業：子育て世帯等への負担軽減を図ることができました。（R6助成件数79,871件）
 - ⑤紙おむつ無償化事業：保護者のおむつ補充等や保育士のおむつ管理に係る負担を軽減することができました。
 - ⑥すくすく応援事業：1歳未満のこどもがいる世帯に対して、おむつ等の購入費用の助成を行い、子育て支援の充実に図りました。（R6すくすく応援事業商品券配布数：1,202人）
- 〈R7〉①第3子以降保育料無償化事業：第3子以降の保育料の支援を行い、広く子育て世帯の負担を軽減し、多子世帯にとって子育てしやすいまちの実現を目指します。
 - ②保育士等奨学金返還支援事業：奨学金返還に係る費用支援を行い、保育士の職場への定着を促進し、保育人材の確保を図ります。
 - ③保育士等就職定着応援支援事業：就職定着応援支援金を給付し、保育士の職場への定着を促進し、保育人材の確保を図ります。
 - ④子ども医療費助成事業：助成要件を確認のうえ適切に助成を行い、子育て世帯等の負担軽減を図ります。
 - ⑤紙おむつ無償化事業：市内の保育施設等に紙おむつを配置し、保護者および保育士の負担軽減を図ります。
 - ⑥すくすく応援事業：1歳未満のこどもがいる世帯に対して、おむつ等の購入費用の助成を行い、子育て支援の充実に図ります。



「健幸都市づくり」主な関連事業



■ 令和6年度の実績・評価 および 令和7年度の実績状況

〈こども・若者支援〉

- 〈R6〉 こども・若者総合相談窓口における悩みの受け止めやこども若者支援協議会の運営、ヤングケアラーへの支援、こども・若者の居場所運営事業を実施し、こども・若者やその家族の自立に向けた支援を行うことができました。
- 〈R7〉 こども・若者総合相談窓口における悩みの受け止めやこども・若者支援協議会の運営、ヤングケアラーへの支援、こども・若者の居場所運営事業を継続実施し、困難を抱えるこども・若者や家族の自立を支援します。

〈こども食堂支援事業〉

- 〈R6〉 こども食堂運営者が安心して継続運営が行えるように、草津市社会福祉協議会を通じて、こども食堂の開催回数に応じて8団体に補助を行いました。また、こども食堂相互の情報交換、交流を目的に開催したこども食堂情報交換会には、15団体の参加があり、顔の見える関係を築くことができました。
- 〈R7〉 こども食堂運営者が安心して継続運営が行えるように、草津市社会福祉協議会を通じて補助を行い、こどもへの食事の提供および安心して過ごすことのできる居場所の提供を支援します。また、こども食堂運営者を対象に情報交換会を開催することで運営上の課題の共有、情報交換を促し、こども食堂間相互の活動の充実を図ります。

〈高齢者の生きがいづくり〉

- 〈R6〉 老人クラブや地域サロンの活動支援を行った結果、高齢者の社会参加や生きがいづくりにつなげることができ、高齢者福祉の増進を図ることができました。
(R6実績 老人クラブ数：35団体、地域サロン数：154団体 / R5実績 老人クラブ数：37団体、地域サロン数：148団体)
- 〈R7〉 高齢者の生きがいづくり・仲間づくり・健康づくり等を行う老人クラブの活動を支援するとともに、高齢者が住み慣れた地域で安心して生活し、社会交流の活性化を推進できるよう地域サロン活動の支援を行います。



「健幸都市づくり」主な関連事業



■ 令和6年度の実績・評価 および 令和7年度の実績状況

〈フレイル予防〉

- 〈R6〉 ポピュレーションアプローチ※¹として、地域の通いの場等に出向き、フレイル予防や生活習慣病予防に関する講話や保健指導を実施したほか、ハイリスクアプローチ※²として、保健師等の専門職による口腔機能リスク者や高血圧等の生活習慣病重症化リスクのある者に対する健康状態の把握と保健指導等を行った結果、高齢者の健康づくりの推進と疾患等の重症化予防に努めることができました。
(R6実績) ポピュレーションアプローチ：医師等の専門職による出前講座 61回 延べ1,015人、
健幸フレイル予防講座：12回 延べ163人、保健師による健康測定・健康相談等 80回 延べ3,427人
ハイリスクアプローチ：介入38人
- (R5実績) ポピュレーションアプローチ：医師等の専門職による出前講座 63回 延べ1,086人、
コグニサイズ運動教室：24回 延べ199人、保健師による健康測定・健康相談等 93回 延べ4,284人
ハイリスクアプローチ：介入31人
- 〈R7〉引き続きポピュレーションアプローチとハイリスクアプローチを併用した保健指導等を行うことにより、高齢者の健康づくりの推進と疾患等の重症化予防を図ります。

※1 ポピュレーションアプローチ …… 健康リスクの有無にかかわらず、集団に対して働きかけること。

※2 ハイリスクアプローチ …… 健康リスクを抱えた「個人」に働きかけること。

〈eスポーツ・プール介護予防事業〉

- 〈R6〉地域の団体に対して、eスポーツアドバイザーを派遣しeスポーツの出前講座を令和5年度に引き続き実施しました。
(R6実績 eスポーツによる地域出前講座 17団体 延べ238人／R5実績 12団体 延べ233人)
また、令和6年度よりスタジオやプールを活用した介護予防教室をインフロニア草津アクアティクスセンターにて実施し、介護予防の必要性や運動、食事を見直すきっかけづくりを提供し、介護予防を促しました。
(R6実績 プールを活用した介護予防教室の開催 24回)
- 〈R7〉eスポーツ介護予防事業やプール介護予防教室を通じて、心身機能の維持・改善や社会参加等を促すとともに、高齢者が主体的に介護予防に取り組むきっかけづくりとなるよう、介護予防の普及啓発を図ります。



「健幸都市づくり」主な関連事業



■ 令和6年度の取組実績・評価 および 令和7年度の取組状況

◆健幸につながるまちづくり

〈重層的支援体制整備事業〉

- 〈R6〉 こども・障害・高齢・生活困窮等といった各分野の相談支援事業と地域づくり事業や、各支援を支える多機関協働事業、参加支援事業、アウトリーチ支援事業を一体的に取り組み、コーディネート会議の開催を通じて複雑化・複合化した課題やはざまの課題がある世帯の支援について総合調整を行い、世帯支援のチーム形成や関係機関間の連携強化を図ることができました。（R6実績 コーディネート会議開催回数：47回／ R5実績 コーディネート会議開催回数：40回）
- 〈R7〉 こども・障害・高齢・生活困窮等といった各分野の相談支援事業と地域づくり事業や、各支援を支える多機関協働事業、参加支援事業、アウトリーチ支援事業を一体的に取り組み、複雑化・複合化した課題やはざまの課題がある世帯の支援を検討するコーディネート会議の開催を行います。また、第5期草津市地域福祉計画を策定する中で、重層的支援体制整備事業実施計画を一体的に策定します。

〈地域公共交通網の充実〉

- 〈R6〉 交通系ICカード決済等の運用を開始したことにより、キャッシュレス化および公共交通の利便性向上が図れました。また、市民（地域）や交通事業者とワークショップ等を実施し、東草津地域および志津学区等においてまめタクの路線再編を行い、市民の移動手段の確保および公共交通の利用促進を行いました。
（R6実績 コミュニティバス「まめバス、草津・栗東・守山くるっとバス」：167,313人／ R5実績 155,844人）
（R6実績 デマンド型乗合タクシー「まめタク」：2,507人／ R5実績 1,653人）
- 〈R7〉 引き続き、「草津市地域公共交通計画」に基づき、市民（地域）、交通事業者と連携、協働して、公共交通ネットワークを形成し、公共交通の充実を図ります。
また、既存の地域公共交通と連携またはこれを補完する新たな交通手段の確立に向けて、草津市無料送迎バス活用実証事業を行います。



「健幸都市づくり」主な関連事業



■ 令和6年度の実績・評価 および 令和7年度の実績状況

〈大学との共同研究〉

- 〈R6〉 健幸への意識や関心が低い方々（健幸無関心層）への効果的なアプローチの方策を検討するため、働き世代（市職員）を対象としたモニタリング調査（健康観察）を行った結果、運動プログラム等の開発につながりました。

（R6実績 75人／ R5実績 36人）

〈R7〉 「働き世代の健幸」に係る委託研究の成果を市民へ還元するため、研究結果に基づいた市民公開講座を実施するとともに、運動プログラム動画を作成します。

〈「健幸都市くさつ」広報・啓発事業〉

■ 〈R6〉

- ・ 市民が健幸づくりに取り組むためのきっかけづくりや、環境づくりを行うため、広報・啓発事業として、啓発用プロモーション動画の映画館での放映や、横断幕の掲示等に取り組みました。
- ・ 新たに健幸都市くさつ公式SNS（note、X、Instagram、LINE）を立ち上げ、幅広い方に健幸都市づくりの取組を知っていただき、「健幸都市くさつ」の効果的な啓発・周知（情報発信）につなげることができました。
- ・ 「『健幸都市くさつ』イベント・啓発資材貸出要領」を策定し、草津市健幸都市宣言賛同事業所等へ啓発資材の貸し出しを行い、事業所が出展するイベント等で啓発していただきました。
- ・ くさつ健幸ステーションの認知度向上のため、イオンモール草津において、「出張型健幸ステーション」イベントを実施しました。
- ・ 「道の駅草津 グリーンプラザからすま」の買い物カゴに健幸啓発チラシを設置しました。

※上記の取組により、「健幸都市くさつ」の認知度向上を図ることができました。

（R6実績 啓発動画3本放映、歯ブラシ500本、入浴剤600個、新規賛同事業所3事業所／

R5実績 啓発動画3本作製・放映、横断幕・懸垂幕各1枚、缶バッジ1,500枚、日めくりカレンダー3,000冊、ウェットティッシュ1,400枚、新規賛同事業所4事業所）

〈R7〉 健幸都市くさつ公式SNSを活用し、より多くの方に健幸都市づくりの取組を知っていただくとともに、様々な主体と連携し、健幸づくりのきっかけとしていただけるよう取り組みを進めます。また、くさつ健幸ステーションの認知度向上のため、くさつ健幸ステーションMAPを作成します。

■ 令和6年度の取組実績・評価 および 令和7年度の取組状況



↑ 健幸都市くさつ公式SNS



↑ さくらまつりでの賛同事業所による啓発



↑ 出張型健幸ステーション



↑ 道の駅の買い物カゴに健幸啓発チラシを設置

001 インフロンニア草津アクアティクスセンター		健幸ステーションMAP
01 こんな施設です	「わたSHIGA輝く国スポ・陸スポ」の水泳競技会場として2024年8月1日にオープンした通年利用可能なプール施設です。またトレーニングルームやスタジオ、タニタカフェなども併設しております。是非ご利用ください。	<p>どなたでも身体測定ができる健康ステーションでは体組成計や血圧計は所定のアプリをご登録いただくことでスマホで健康管理ができます。また、常時スタッフもおりますので、最適なトレーニング方法などをアドバイスさせていただきます。</p> <p>介護予防教室やスイムレッスンなど様々なイベントなど1年を通して楽しめるような取組みを企画しておりますので、お気軽にお越しください。</p>
02 利用時間 アクセス	<p>・開館時間 9:00 ~ 21:00</p> <p>・休館日 木曜日（祝日の場合営業）</p> <p>・住所 草津市西大路町13-10</p>	
03 健幸の取組	<p>・タニタ体組成計</p> <p>・タニタ血圧計</p> <p>・体内AGEs（糖化度）</p> <p>・スプリームビジョン 視機能や認知機能を測定</p> <p>・Zaritz（ザリッツ） 下肢の筋力とバランスを測定</p>	04 健康器具

↑ 健幸ステーションMAP 各ステーションの紹介ページ